

## 昭和55年日本気象学会秋季大会の告示

1. 日時 10月29日(水)～31日(金) 長期予報課内 講演企画委員会
2. 会場 京都教育文化センター 3) 様式：本号挿入の申込用紙に記入，予稿原稿を添えて申し込むこと，原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること，詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください。  
京都市左京区聖護院川原町4-13  
(京大病院正門前) Tel. 075-771-4221(代)
3. 研究発表 4) 講演時間：討論を含め15分以内一厳守ー
  - 1) 講演申込・予稿原稿の締切：8月31日(日)必着期限厳守のこと
  - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁 4. シンポジウム  
「豪雨」について

## 「気象集誌」100周年記念特別号の論文募集について

### 「気象集誌」編集委員会

気象学会の創立100周年を記念して、「気象集誌」では記念特別号を刊行することになりました(Vol. 60, No. 1をこれにあてる予定)。下記の要領で、当特別号の論文を募集します。奮って投稿されるよう希望致します。

#### 記

1. 論文は、オリジナルな仕事で、各専門分野の最先端をいくものや新しい分野を切り拓くものが望ましい。また、各専門分野の歴史的回顧も受けける。
2. 論文の投稿規定は通常号のそれに準じるので、表紙裏の規定を参照されたい。なお、ページ・チャージも同様である。
3. 編集は、「気象集誌」編集委員会にさらに若干名を追加した、特別号編集委員会を設置し、それがあたる。特別号編集委員会は、論文の採否を決定し、採用

論文の加筆・削除・訂正を要求し得る。

4. 論文は、原則として印刷12頁以内とする。
5. 論文は、1981(昭和56)年7月31日までに、気象学会事務局気付「気象集誌100周年記念特別号」編集委員長宛、簡易書留で送付のこと。その際、封筒表面および論文原稿表紙に、「記念特別号投稿論文」と朱記すること。

#### [註]

- (1) 本特別号には、若干の招待論文・招待総合報告も収録する。
- (2) 記念特別号は、論文総数30～40篇、総頁数300～400頁を考えている。
- (3) 領布価格等については、後日案内する。